HARLEY-DAVIDSON TWIN SPORTS WORLD FINAL



96.10.18~20 at DAYTONA INTERNATIONAL SPEEDW

3JAPANESE GOTO DAYTONA

二、けらアンシバードトナに対して







もはやおなじみスポーツスター・ワンメイクレースの96シーズンに掲げられたビッグプライズ、 "デイトナご招待"。ランキング上位3名のライダーは、一路デイトナに向けて旅立った。 壁のような名物バンクに挑んだニッポンダンジ、笑いと感動の顚末配をお楽しみください。

取材協力/ハーレーダビッドソン ジャパン





いたりをおばさんは覚えていてくれた様子

早速スピードウエイで選手受付。3月も来た



ついに来たスピードウエイ、 後ろ の壁の裏はかのバンク。吉田クン は彼女、天田サンは友人、奥川ク ンは家族連れでまたまた記念撮影



担当者の御好意によりバンクをます は足で体験。このすさまじい傾斜か 伝わるだろうか。ビデオ片手のふた りのアッケに取られた表情にも注目

ントだって、オイラは3月にも…しつこい!)、 どという冗談はさておき(ホントにジョーダン? たんだ、オレは自分で走りたかったんだよオオオな

日本

代表の3人がデイトナでどんな走りを披露するかを

同じライダーの2年連続招待はナシなのだから……。

本当は人の走っている姿など見に行きたくなかっ

よるこのデイトナご招待は来シーズン以降も続き

はバチがあたりそーだから)

来年に期待。

てきたイケダとしては(年に2回もバンクを走って

ポートしたとおりすでに3月にデイトナを走っ

もレ

うまでもなくデイトナ行きはオアズケ。

ŧ

24号で

ンキングは3位と同ポイントの4位にとどまり、

HBJイケダは今季最高の4位に入るものの、





到着翌日、やや時差ボケ気味の記念撮影。それにしても陽差しがまぶしい!

が展開された……などということはさらさらなく、

サーキットでは血で血を洗う争い

総輸入元、ハーレーダビッドソンジャパン。その3 っ腹なスポンサー様はいわずと知れたH―Dの日本 ナルレースに招待しようというのである。そんな太

大方のライダーはそげなことオラには関係ねーべと

かりにサンデーレースを心底楽しんでいた。

ダビッドソン・ツインスポーツ。のワールドファ

ナショナルスピードウエイで開催される『ハーレー なんとアメリカ・フロリダ州はデイトナ・インター

が危なげない走りで独走、 チケットを手に入れた。OPENクラスは奥川選手 ランキング2位を獲得すると同時にデイトナ行きの 勝を制したのはやはり天田選手で2位は岩城選手。 3の予選を終えてポールポジションを奪ったのは、 きライダーが決定したのである。蛇足ながらワタク ントラブルにより後退し、3位に入った吉田選手が 注目の吉田VS横手のバトルは横手選手がミッショ なんとこのクラス初出場の岩城滉一選手。しかし決 が1ポイント差で火花を散らすこととなった。88 のひとつの座をかけて吉田健一選手と横手信一選手 がともに2勝を挙げてほぼ当確。残る883クラス では883の天田昭治選手、 OPEN両クラス第3戦。ちなみにそれまでの2戦 キットで開催されたヒュージ&タイニーの883) 、招待ライダーが決定したのは9月16日に筑波サー 前号でもチラッとお伝えしたが、 これで3人のデイトナ行 OPENの奥川潔選手 最終的にデイト

シリーズランキングに対してビッグ ワンメイクカ始まって3シーズン目

プライズが掲げられていた。883クラスのランキ ング上位2名とOPENクラス優勝者の計3名を、

尼多た。カビ







翌朝いよいよガレージで愛車と対面。とにかく梱包を開けるまで、ライダー3人はとうにも落ち着くことができなかったらしい

木箱の中はこんなカンジでぎっし りと埋め尽くされ、スペアパーツ でマシンが見えない。レースする ってけっこう大変なのである。

の必要のない日本を代表するハーレー使い。イケダ

潔34才はワンメイクレース始まって以来全戦負けな 度紹介しておこう。OPENクラスウイナーの奥川

となったのだ。 見届けるために

前置きはこれくらいに、3人の日本代表をもう一

しという、スポーツスターフリークにはもはや説明



を身につけると、 つけると、レーサーは誰でである。ツナギとヘルメ



隣のガレージはなんと優勝候補筆頭のバーテ



スインを待つ吉田クンである。何といってもデイトナである ついに初走行 ちなみに吉田クンはバーハンドルをクリップオンに替えてきたのである。



木箱から出したマシンを走行状態にセットアップし、 いよいよレースらしくなって来た。走る前に写真撮っといてよかったね、

らみんながどうしたのか僕は知らない。 店レインボーを一族で営み、本人いわく営業部長ら チカチになったカラダを伸ばしながらもコーフンで ナショナルエアポートにたどり着いた御一行は、 もっともでございます)を経てデイトナ・インター はエコノミーじゃとても行けねエよと申された。ご 部クラスの)だったに違いないと僕はふんでいる。 SCへ。どんなにブレーキングを遅らせても吉田ク リーマンで、プロダクションレースを2年ほどやっ ツは吉田健一30才。唯一バイク屋でない普通のサラ 手に入れ、表彰式で大粒のナミダをこぼした純なヤ があると考えているワケ。その本気をデイトナで見 サーたちはあの人はまだ本気を出していないと思っ たスポーツスターフリーク。 茨城のH―D正規販売 治36才は元国際A級。全日本選手権250mをトッ タシがこうしてレースを続け、輝かしい成績を残せ のチームメイトにしてチーフメカ、3月のデイトナ 目だけはキラキラと輝いている。到着時刻は午後9 にも及ぶエコノミーシートの旅(ちなみに岩城サン 名。成田→LA→アトランタ→デイトナと計18時間 えビビらせるその気合から、元ヤンキー(それも幹 ンは絶対に引かない、近寄りたくないと天田サンさ た後ヤマハSRXでのシングルレース参戦を経てS 横手サンとの白熱の争いを制して残るひとつの座を ることができるかも今回ひとつの楽しみなのである。 ている。よーするに本気を出さなくても勝てる実力 しい。その実力は未知数で、僕を含めた883レー プクラスで争っていた実力の持ち主で、 おかげなのでありました。883ウイナーの天田昭 るのも、ひとえにモトライフ大沢店長と奥川メカの てわざわざついて来てくれた人の良さ。ど素人のワ 遠征にはライダーよりはるかに速いメカニックとし レース出場のためライセンスを惜し気もなく降格し 10月14日、成田空港に集合した御一行様は総勢12 チ沿いのホテルに向かい、各々の部屋へ。それ それぞれが用意されたレンタカーに分乗してビ ワンメイク か

翌日火曜は快晴、ロビーに集まると皆疲れなんて







車検やパワーチェック等々、やらなければならない事は 結構多い。電子翻訳機(しゃべるヤツ)片手にそんなも の使わずに身振り手振りで話をススメる天田サン。



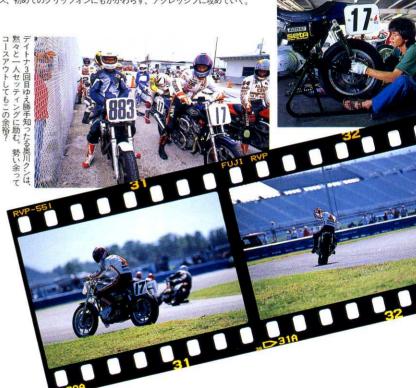


て来ており、

吉田クンは国内仕様つまり883のま

走行から戻り、あーでもない でもないとコース攻略法 を話し合う3ジャパニーズ。 さすがにけっこう真剣。

-なカタコト日本語を操 るバーテルズのチーフメカに、 プラグの焼けの見方を伝授さ れる。ちなみにルーペで見る。



883レースを経験済みの奥川クンをも含め、 そしていよいよ初走行だ。すでに93年にデイトナで 田クンの頰の引きつりはだいぶ収まった。 ースーツに着替えてヘルメットを被った3人のカラ もマシンは無事で、早速走行に向けセットアップ。 かも知れない。と奥川クン。それを聞き天田サン吉 翌水曜日はゲートオープンの8時にガレージ入り スパナならぬバール片手に梱包をとく。3台と レザ

楽だから。とイケダ。。走る前に見ない方がよかった

いる。。大丈夫、歩くよりバイクで走る方がはるかに

なる奥川クンも僕と同様の感じを受けていたらしい

後のふたりは『こ、ココ走るの?』と絶句して

ろを走ったのかとしばし感激。

。3回目のデイトナと

中バンクの最大傾斜の場所で記念撮影。バンクを歩 なった。2台のクルマに分乗してコースを1周。

くのは僕も初めてで、すさまじい傾斜にこんなとこ

ライダーたちはレジストレーションを済ませたもの

などと思いつつスピードウエイに到着。

でもそんなデイトナもまたい

ガレージはクローズで入れないとのこと。でも

そのかわりにコースの中を案内してもらえることに

街中閑散としている。

訪れたデイトナはいずれも3月のバイクウイークで

ートにハーレーがイナイのだ。これまで5、6回

しかし街にバイクがイナイ!

スト

スピードウエイまではク

至る所ハーレーに埋め尽くされていたというのに、

内レギュレーションは変わりません、ご安心を)、奥 1200 でへのボアアップが可能となったため(国 アメリカの883レースのレギュレーションは今シ ションをこなし、 メットを脱いだ3人の上気した顔には、 空のかなたに消えていった。 走るヒトは……そんなレポーターの独り言は、低く 台が連なるようにピットロードを飛び出していく。 ダ全体からは緊張とワクワク感が伝わってくる。 ーズンの中盤より変更となり、 ース攻略の難しさに対する苦悩が同居していた。 こだまする883のエキゾーストノートに弾かれ青 /天田両氏はマシンをその規則に合わせて製作し 午前/午後と30分一本ずつのプラクティス・セッ 走ってる走ってる! その合間に車検をパス。 ガレージに戻ってヘル 楽しそう!! 65馬力を上限として 笑顔と、 ちなみに いいねエ

日本から航空便で届いているハズのマシンを確認す どこへやら。何はともあれスピードウエイに行って、

るべくソワソワウキウキ。



いざ決勝、と気合でガレー ジを出た矢先に出くわした ブロンド美女と、記念撮影 を始めた天田さん。やっぱ り載せちゃいましたゴメン。





転倒大破の愛車を前に アタマを搔く吉田クン これでディズニ ランドかと笑みを浮か べる彼女。一足早くマ シンを梱包し始めた。





ついにデイトナの決勝グリッドに着いた#15天田昭治、 一列後ろに奥川潔が並ぶ。最高の気分を味わってんだろうな、



フロントローに並ぶのはポールのマット・ウエイト以下バーテルズが 台。とにかく速いライダーはやはりカッコいいのである。

3JAPANESE 60 TO

でもそのときの一言。

天田サンも1度転倒を喫したものの(やっぱコリ

今度は勝ち狙いに来ます、マジで!

て吉田クンはライダーから観戦者に身分を下げた。

となんてできない。やはりこの気合はただ者ではな

僕は絶対あのシケインを転倒覚悟で攻めるこ

ひょっとすると昔は特攻隊長か……! こうし

ぶまで突っ込んでしまう気合には、はっきり言って

てのコース、それももちろん初めての海外遠征で転

は攻めあぐねてしまうことが多いというのに、

イントである。カラダが無事だっただけでもラッキ

・ナーの中で最もハイスピードで突っ込んでいくポ

ーだ。ハイスピードのコーナーで転ぶのは痛いから

(当たり前え)、特に僕らのようなサンデーレーサー

継ぎ目の舗装はかなりいい加減。そのうえ数あるコ

いえないデイトナ、特にこのシケインの侵入部分の と較べるとコースの路面状況はお世辞にもいいとは でハンドルをとられたとのこと。日本のサーキット を駆け降りた長いストレートに設けられたシケイン ムも左右があらぬ方向を向いている。

聞けばバンク スイングアー

フロントフォークが折れ曲がり、

曜午前のセッションでトラックの荷台にゆられて戻

でピンピンしているものの、マシンは大破に近い中 って来た。転倒である。ライダーは軽い打ち身程度

サンも、奥川クンも、アメリカ人もみんな必死。 から楽しそう。だから見ていても楽しい。走ればも ってのスタートシグナルだ。必死に走ってる。天田 とはいえコチラのヨーイドンは拍子抜けするほどあ らぬ2ジャパニーズ。ついにやってきたこの瞬間! グランドスタンドをバックにグリッドに並ぶ、3な 分20秒50で17位。全参加台数は34台だった。 順位は天田サンが2分19秒17で14位、奥川クンが2 ね……とレポーターは かったというのに、 ら楽しくてタイムやら予選順位なんて気にもとめな ハンドルとステップを交換して走行は続く。奥川ク ヤかなりマジだ)ライダーは無事、マシンは小破。 て行く2人。3月、オイラは走ることだけでひたす に表情は曇りがち。何はともあれ刻々と時は過ぎて ンはノントラブルながら、自分の走りに納得できず 決勝は2ヒート制で1発目は土曜。青空と巨大な して予選は金曜日。 突如巻き起こる爆音が観客にと やっぱトップを走る人は違うの (ちょっぴり) 反省。で予選 かなりの気合で飛び出し

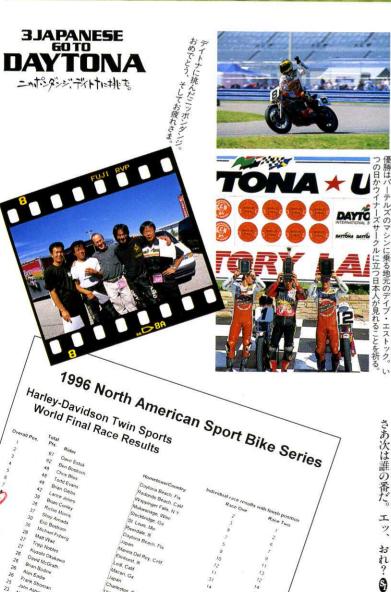


ッポンダンジはそれを身をもって証明してくれた。 ない。それがハーレーならばなおさらだ。3人のニ 少なくともサーキットという世界に国境線は存在 で心底フレンドリーなアメリカ人。これがデイトナ

ップライダーたち、でっかい空、

輝くビーチ、陽気

だ。これがスポーツスターでレースをする喜びだ。



日本最速の883使い、天田昭 治の走りはとにかくスム ズで無理がない。今回は100 %マジな走りを見せていた だきました、ハイ。





日本最速のハーレー乗り、奥川 の独特なライディングフォーム とにかくいつも真剣にレースに

情にはさわやかな笑みが宿っていた。

たふたりとも、満足いかないといいながらもその表

天田サンが11位、

奥川クンが20位。ガレージに戻っ

ても味わってもらえると思う。第1ヒートの結果は

インラしてしてしまたり

り組む姿、見習わせて頂きます

満面の笑顔で埋め尽くされていた。 分かる。結果は天田サンが14位、 は最高だった。壁のようなバンク、歯が立たないト ふたりは、 おもしろかった!』。最高! 転倒リタイヤとなった吉田クンも含め、この遠征

でコースへと消えていった2ジャパニーズは、なん 何度か順位を入れ替えながらコーナーを攻め立てる とテール・トゥ・ノーズで鍔ぜり合いを繰り広げる。 すべてを終えてヘルメットを脱いだふたりの顔は、 続く日曜の第2ヒート。昨日にも増して気合十分 はたから見ていても熱くなっているのが 奥川クン15位。

HOT BIKE 5